

令和元年度 春日井市環境教育事業の主な取組み

春日井市環境部環境政策課

1 市民環境アカデミー (参考資料1)

平成28年度から開講。地球温暖化を始めとする環境問題について幅広く学び、学んだことの実践を促す全6回からなる講座。環境まちづくりの基盤となる人材の育成を図るために実施。今年度は8月17日(土)に開講し、第1回は国立天文台長・常田佐久氏をお招きする。

修了者の一部が、市環境啓発イベントへボランティアスタッフとして参加する他、愛知県地球温暖化防止活動推進員に委嘱された。

年度	28	29	30
受講者	50名	45名	44名
修了者数 ※	32名	30名	32名

※5回以上の参加

2 子ども環境アカデミー (参考資料2)

平成30年度から開講。小学4～6とその保護者を対象とし、家族ぐるみで環境について学ぶことができる全5回からなる講座で昨年度は20組41名が受講。今年度は7月27日(土)に開講。

企画にあたっては、環境部内各課担当者からなる「担当者会議」を設け、各所属が企画を持ち寄り、全体を構成。



H30 第2回 川越火力発電所での実験の様子



H30 第5回 気象キャスターから地球温暖化について学ぶ

3 市民環境フォーラム

多くの市民、事業者の環境への関心と環境保全意識の高揚を図るために実施。著名人による環境講演や実験を交えたパフォーマンス等を実施。

あわせて、地域において環境保全活動の取組みを行っている個人・団体等の功績を称える「かすがい環境賞」の顕彰を行う。

今年度は8月31日（土）に開催し、動物写真家・前川貴行氏による講演を行うほか、中部大学春日丘（はるひがおか）高等学校生徒による、環境をテーマとした研究についての発表を行う。



H30 らんま先生の eco 実験パフォーマンスの様子

4 エコライフセミナー

家庭でできる地球温暖化対策や環境にやさしいライフスタイルへの転換について、学び考え実践してもらおうきっかけづくりを目的として実施。例年2回開催。

今年度は第1回として、8月7日（水）にかすがい環境まちづくりパートナーシップ会議と協力し、竹の水鉄砲つくりとあわせ「打ち水イベント」を実施予定。「打ち水イベント」には環境に配慮した事業活動を行っている「かすがいエコオフィス認定事業所」、市内公共施設のそれぞれの所在地で参加。第2回は10月に市内事業所を講師として実施予定。



H30 エコライフセミナー（竹の水鉄砲作り）の様子



H30 打ち水イベント（市役所）の様子

5 出前授業

これまで実施してきた出前授業の内容の充実化を図るため、H30年度に課職員が「地球温暖化防止コミュニケーター」の講習を受講。最新情報に基づく教材を活用したプログラムを企画し、試行的に実施。今年から放課後なかよし教室や市内小学校での授業での実施を本格的に展開。その他 NPO 法人気象キャスターネットワークと連携した気象予報士による出前授業も市内小学校で実施予定。



H30 市職員による出前授業の様子



H30 市職員による出前授業の様子
(模型による温室効果ガスの実験)

6 かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議（参考資料 3）

市民・事業者・市が三位一体となった環境まちづくりに向けて平成 14 年度に設立。

毎月運営会議を開催し、通年に渡り各種事業を行うほか、先述の市民環境フォーラムやエコライフセミナー等、市主催事業の運営にも協力

今年度も各種事業（河川清掃、水生生物調査、エコツアー 等）を実施。



【参考】平成 31 年 4 月時点

市民会員：35 名

市民団体会員：15 団体

事業者会員：6 者

7 中部大学連携事業（わんぱく ECO チャレンジ）

中部大学幼児教育学科と連携した事業で、市内保育園や学童保育にて間伐材を用いた箸づくり、折り紙を使った箸袋づくりを行うもの。

事業目的は2つあり、一つ目は子ども達が豊かな森林を育むための「間伐」について学ぶとともに、物を大切にする心を育むこと、二つ目は企画・運営を学生が行うことで次世代の環境教育の担い手を育成することにある。

保育園で実施した際は、全4回で構成され、箸・箸袋以外に普段は捨ててしまうたまねぎの皮を利用し、布を染めてランチョンマットを作成。最終回は作成した箸・箸袋・ランチョンマットを使って園児と学生と一緒に給食をとり、食べ物を残さず食べることも環境を守ることにつながることを学んだ。



紙芝居を用いた「間伐」の説明（学童保育）



鉋を使った箸づくり（保育園）

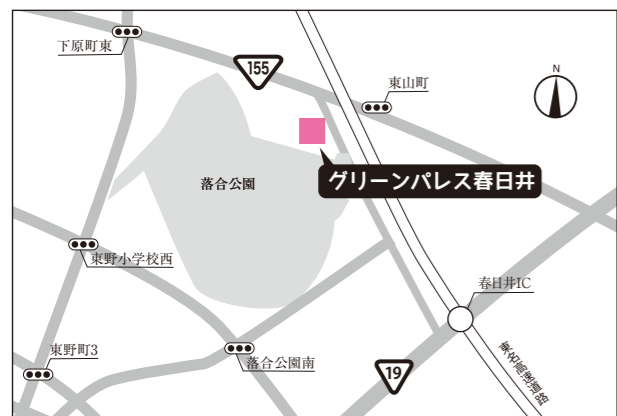


完成した箸と箸袋（保育園）

会場案内

グリーンパレス春日井(勤労福祉会館)

〈開催日：8/17〉



春日井市東野町字落合池 1-2

グルッポふじとう

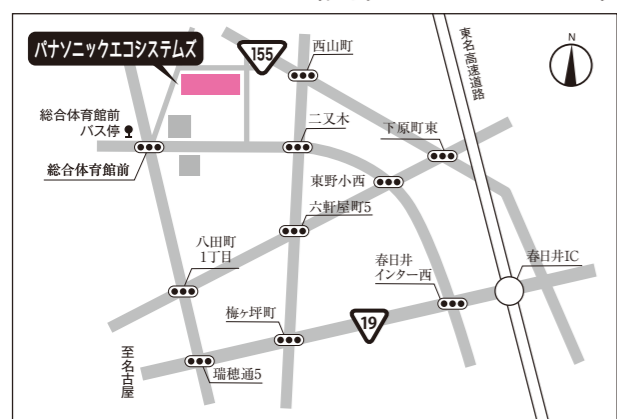
〈開催日：10/4〉



春日井市藤山台 1-1

パナソニックエコシステムズ(株)

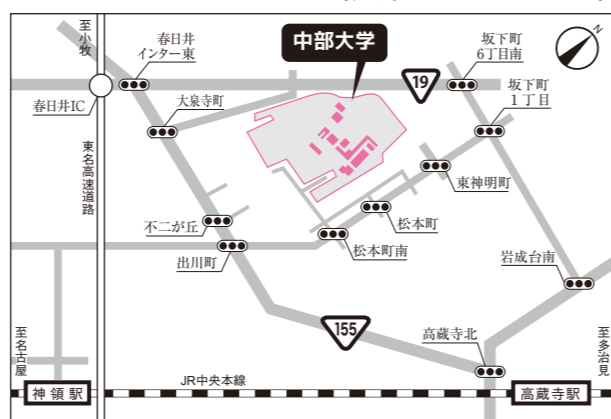
〈開催日：11/29〉



春日井市鷹来町字下仲田4017

中部大学

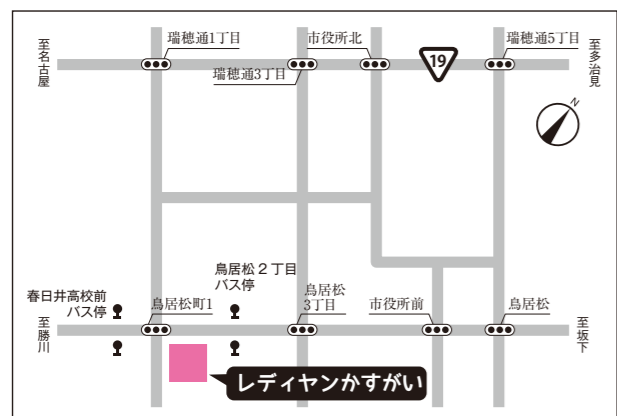
〈開催日：12/7〉



春日井市松本町 1200

レディヤンかすがい(青少年女性センター)

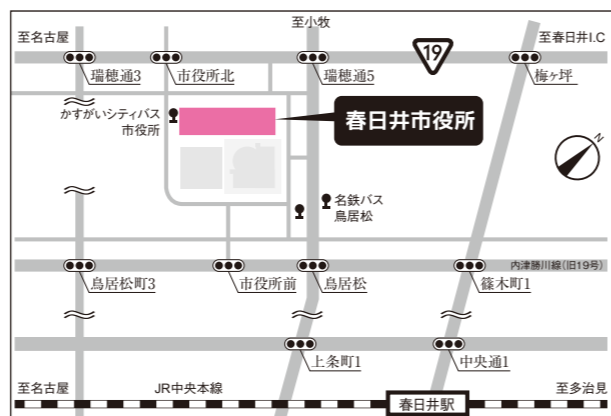
〈開催日：1/9〉



春日井市鳥居松町 2-247

春日井市役所

〈開催日：2/7〉



春日井市鳥居松町 5-44

春日井市

市民環境アカデミー

資源循環、生物多様性、海洋汚染など幅広く環境について、
講義やワークショップなどを通じて学びます。



国立天文台長
常田 佐久



中部大学応用生物学部 環境生物科学科教授
大場 裕一



四日市大学環境情報学部教授
千葉 賢

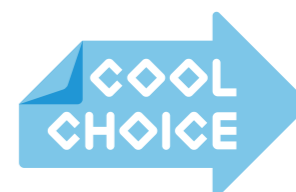


一般社団法人 SDGs コミュニティ代表理事
新海 洋子

申込みについて

- 定員** 40名(定員を超えた場合は抽選)
- 対象** 市内在住、在勤、在学の方
- 申込期間** 8月2日(金)まで
- 申込方法** はがきかファクス、Eメールに①市民環境アカデミー参加、②氏名(ふりがな)、③住所、④電話番号、⑤年齢、⑥性別を書いて、〒486-8686 春日井市環境政策課 (FAX:0568-84-8731、Eメール:kansei@city.kasugai.lg.jp)へ

**受講料
無料**



未来のために、
いま選ぼう。

COOL CHOICEは温暖化対策に資するあらゆる“賢い選択”をしていこうという取り組みです。未来の春日井のために、今はじめよう。合言葉はクールチョイス(COOL CHOICE)

※講座の内容・講師・会場等についてはP2~P4をご覧ください

春日井市環境部 環境政策課 TEL:0568-85-6216

令和元年度 市民環境アカデミー講座内容

日時		会場	講座タイトル	概要	講師
1	8/17(土)	グリーンパレス 春日井 (勤労福祉会館)	開講式	市長挨拶・オリエンテーション	市職員
	13:30~ 13:50		太陽と惑星と生命と ＜環境概論＞	「太陽系の外に地球のような惑星は存在するか?」「そのような惑星に生命が存在できる環境があるか?」が本講演のテーマです。 太陽系外の惑星の生命について知るには、太陽と地球の関係を知らなければなりません。高度680kmの宇宙空間から太陽を観測し続けている、太陽観測衛星「ひので」は何を語るのでしょうか。地球という惑星のすばらしさを学び、地球環境問題について考えます。	国立天文台長 常田 佐久
2	10/4(金)	グルッポ ふじとう	パソコンの分解から リサイクルを学ぶ ～レアメタルを探そう～ ＜資源循環＞	廃棄物を適正に処理することで、様々な素材がリサイクル可能となります。 この講座では、手作業でパソコンの分解作業に挑戦し、分解した部品を鉄、プラスチック、基盤など素材毎に分け、さらに希少金属であるレアメタルを探します。分別により、廃棄物がリサイクル可能になることを体験し、資源循環や、限りある資源の大切さについて学びます。	シーピーセンター 株式会社 営業部 堀 将嘉
3	11/29(金)	パナソニック エコシステムズ 株式会社	空気・水の環境事業を創造する 春日井工場エコツアー ＜環境事業、省エネ、地域共生＞	パナソニック エコシステムズでは、優れた省エネ性能を有する製品の開発やクールトレンチ(地下道を利用した冷暖房)など先進的な省エネルギー対策を行うほか、春日井市と連携した環境活動、環境教育活動を推進しています。 環境活動に積極的に取り組む先進工場を視察し、持続可能な社会のための環境取組みについて学びます。	パナソニック エコシステムズ 株式会社 環境・品質推進室 室長 内藤 清隆
4	12/7(土)	中部大学	発光生物が照らす環世界 ＜生物多様性、自然環境保全＞	地球には多様な生物が存在していますが、私たちが知らないことがたくさんあります。 深海は光の届かない暗黒の世界だと思いませんか?実は、深海はさまざまな発光生物たちが照らし出す、微弱光の世界となっています。一方、私たちの身の周りでも、いろいろな陸生発光生物が光を灯しています。普段気付かない夜や深海の世界を発光生物の目を通して見ることで、生物多様性、生態系の保全など自然環境保全の大切さについて学びます。	中部大学 応用生物学部 環境生物科学科 教授 大場 裕一
5	1/9(木)	レディヤン かすがい (青少年女性センター)	伊勢湾のマイクロプラスチック 汚染の現状 ＜ごみ、海洋汚染＞	生活が便利になる反面、地球温暖化を始めとする様々な環境問題が起こっています。近年では、ビニール袋やペットボトルなどの身近なプラスチックごみによる、地球規模での海洋や河川などの環境汚染が問題となっています。特に、マイクロプラスチックと呼ばれる5ミリ以下の大きさのプラスチック片による、生態系や人間の健康への影響について関心が高まっています。身近な伊勢湾の現状や世界の動向について学びます。	四日市大学 環境情報学部 教授 千葉 賢
6	2/7(金)	春日井市役所	私たちのための、私たちによる 環境まちづくり ～学びを行動に～ ＜環境活動＞	100年後の春日井のまちを想像してください。未来の春日井市の環境は、今を生きるわたしたちの行動によって変わります。学んだことを行動に。私にできること、私がしたいことを見つけましょう。 一人ひとりの小さな行動と多様な人々のそれぞれの立場における行動が融合することで、環境問題の解決に大きな成果を生み出します。環境アカデミーの連続講座を通じた学びを「自ら行動する力」「協働して行動する力」に変える手法について学びます。	一般社団法人 SDGs コミュニティ 代表理事 新海 洋子
			13:30~ 15:30	閉講式	市長挨拶・修了証交付
	15:45~ 16:15				

令和元年度

子ども環境アカデミー

受講者を募集します!!



工場見学や工作をしながら
環境について、家族で考えよう



対象・定員

市内に在住する小学 4~6 年生及びその保護者 20 組 40 名 (抽選)

申し込み方法

7月1日(月)【必着】までに、市ホームページ「イベント」ページ内、「申込フォーム」で。
または、ハガキかファックスに「子ども環境アカデミー参加」、住所、参加者全員の氏名(フリガナ)、年齢、電話番号を書いて、環境政策課まで送付してください。

問い合わせ・申込み先

春日井市環境部環境政策課

〒486-8686 春日井市鳥居松町5丁目44番地

TEL: 85-6216 FAX: 84-8731



QRコードを読み
込むと簡単にア
クセスできるよ。
みんなの申込みを
待ってるよ!!



日程、内容など、詳しくは裏面をご覧ください

プログラム

■第1回 7月27日(土) 8:20~15:00

場所：川越火力発電所（三重県三重郡川越町大字亀崎新田字朝明87-1）

タイトル	川越火力発電所見学エコツアー～電気の生まれる瞬間を見に行こう～
講師	中部電力(株)
内容	発電所内部の見学や、実験、電力館での体験を通じて、電気の発電方法や省エネの大切さを学びます。
その他	市役所に集合し、バスで現地に向かいます。昼食をご用意ください。

■第2回 8月17日(土) 9:00~13:00

場所：グリーンサイクル株式会社（名古屋市港区昭和町13）

タイトル	リサイクルって大切なんだ！～家電製品の解体現場を見てみよう～
講師	グリーンサイクル株式会社
内容	解体工場の見学やデモ機の実演を通して、家電製品のリサイクルの仕組みや分別の大切さについて学びます。
その他	市役所に集合し、バスで現地に向かいます。

■第3回 9月14日(土) 10:00~11:30

場所：エコメッセ春日井（春日井市神屋町1-2）

タイトル	ビンって、どうやって生まれ変わるの？～ガラスでキーホルダーを作ろう～
講師	有限会社大原ガラスリサイクル
内容	空きビンのリサイクルについて学び、資源の有効利用やその大切さを考えます。また、カレット（ガラス瓶の原材料）を使って工作を行います。

■第4回 11月16日(土) 9:30~12:00

場所：潮見坂平和公園（春日井市大泉寺町字大池下292）

タイトル	「秋の自然環境学習会」～春日井の自然と触れ合おう～
講師	自然環境保全活動推進員
内容	潮見坂平和公園の山林や竹林を探検し、自然素材を用いた工作を行い、身近な自然について体験学習します。

■第5回 12月7日(土) 14:00~15:20（15:10~15:20に閉講式を行います。）

場所：グルッポふじとう（春日井市藤山台1-1）

タイトル	サボテン博士と学ぶ環境生態学～市の特産品「サボテン」について学ぼう～
講師	中部大学応用生物学部 講師 堀部貴紀 氏
内容	春日井の特産物であるサボテンについて、人や環境との関わりや食べ物としての活用、環境保全の取り組みについて学びます。

※全5回を通じた申し込みとなります（第4回のみ、アカデミー受講者以外の参加者と合同で行います）。

かすがい環境 まちづくり パートナーシップ会議

～みんなで進めよう環境まちづくり～

当会議(通称:PS会議)は **市民、事業者、市の三者協働** による **環境まちづくり** を推進する組織として、平成14年12月に設立し、さまざまな環境に関する活動を実施してきました。

主な活動は、エコツアー、エコクッキング、アダプト活動等といった自主イベントの開催や、市が主催する春日井まつりや消費生活展等への参加などです。

PS会議公式ホームページ→



春の藤前干潟
クリーン大作戦
(藤前干潟)



冬の
エコツアー
(みのかも健康の森)



東春信用金庫との
エコウォーク



東邦ガス(株)との
エコクッキング



会員募集中!!

PS会議は、一緒に活動してくれる会員を募集しています。
会員には、優先してイベントの案内等をします。
個人年会費は1,000円です。市民団体や事業者の方も募集しております。
興味のある方は、下記お問合せ先まで連絡をお願いします。

市民団体、事業者を
募集しています。



お問合せ先 PS会議事務局／春日井市環境部環境政策課内

〒486-8686 春日井市鳥居松町5丁目44番地

電話:0568-85-6216 FAX:0568-84-8731

メール:kansei@city.kasugai.lg.jp

HP:<http://www.city.kasugai.lg.jp/shimin/gomi/keihatsu/1012748/1012731.html>

吉のまち春日井「道長くん」
©Kasugai City 2023

PS会議の会員である市民団体、事業者を紹介します

市民団体



かすがい里山自然楽校

潮見坂平和公園地内の自然環境整備を通じて希少種や重要な植物群の保全を行っている。

かすがい東部丘陵自然観察会

自然環境の保全のために、少年自然の家イベントや小学校の野外学習支援・自然観察会やモニタリング1000の調査を行っている。

春日井スカウト団協議会

ボーイスカウト、ガールスカウトで構成され、青少年の健全育成を目標とし、野外活動を通して自然を学び友情協調の精神を育てる事を目的としている。

かすがいシェアリングネイチャーの会

ネイチャーゲームを通じて自然への憧憬を深め自然環境の大切さを学んでいる。

春日井里山保存会

春日井市指定希少野生動植物の保護活動や生息調査や休耕田ビオトープの保守保全を行っている。

特定非営利活動法人ザ・希望

障害者・高齢者の借り上げた農地を利用して市民菜園の事業。安心安全のための成年後見制度の利用等の援助事業を行っている。

高蔵寺ニュータウン活き活き楽農会

玉野の遊休地で安心安全な有機野菜づくりや地域と連携し自然環境保全のための清掃活動を行っている。

春日井自然友の会

自然を愛好し、探求し、保護することを活動目的として、自然観察会・自然調査・野草園などの整備と管理を行っている。

みろく山麓の自然を守る会

築水池北岸湿地の保全・観察、散策路の管理を行っている。

環境学習ネットワークグループ

自然観察やガサガサ体験などにおける環境学習の支援を実施し、子どもたちに自然の大切さや楽しさを理解してもらう。

特定非営利法人かすがいネイチャー

高森山にすむニホンリスの調査保全活動や、高森山の保全活動を行っている。

中部ESD拠点推進協議会

中部大学を中心とし、愛知県で開催されたESD(持続可能な開発のための教育)の勉強会などを行っている。

中部大学 発光生物学研究室

中部大学で、生物の発光にかかわるあらゆることを研究しています。市内ではヒメボタルの調査を通して、自然環境の保全に取り組んでいる。

たかくらこどもエコクラブ

高座小学校の4年生～6年生が中心となり、庄内川の水質調査やガサガサ体験などエコに関する取り組みや活動を行っている。

名古屋工業大学ソーラーカー部

ソーラーカーの開発・製作を通じて省エネや次世代エネルギーの普及に取り組んでいる。

市民団体、事業者を募集しています。



春のまち春日井「道風くん」
©Kasugai City 2008

事業者

大和エネルギー株式会社

東海4県唯一のリサイクル技術で、廃棄物から未来のエネルギーと資源をつくります。

王子製紙株式会社 春日井工場

「王子グループ環境憲章」の基本理念に基づき、すべての従業員が誇りと責任を持って、環境と調和した生産活動に取り組めます。

東邦ガス株式会社春日井営業所

クリーンなエネルギーの供給を柱として、企業活動のあらゆる場面を通じて、環境調和型社会の実現に貢献します。

パナソニック エコシステムズ株式会社

空気・水・土壌・エネルギーの環境技術で「人と地球に優しい環境」の実現を目指しています。

日本ガイシ株式会社 小牧事業所

「より良い社会環境に資する商品を提供し、新しい価値を創造する。」を企業理念に掲げ、社会の持続可能な発展に貢献していきます。

木野瀬印刷株式会社

環境に対する取り組みを促進し、従業員一人一人の意識を高めることによって環境への貢献を心懸けています。